

関 市 議 会

平成30年第3回定例会

(平成30年9月13日・14日・18日)

代 表 質 問 順 序 表

順序	議席	氏 名	会 派 名	
1	20	長 屋 和 伸	明 政 会	13日午前～
2	6	松 田 文 男	平 成 会	13日午後～
3	8	村 山 景 一	市 政 ク ラ ブ	13日
4	13	足 立 将 裕	公 明 党 関 市 議 員 団	13日
5	22	猿 渡 直 樹	日 本 共 産 党 関 市 議 員 団	13日

一 般 質 問 順 序 表

6	3	土 屋 雅 義	平 成 会	14日10:00～
7	12	鵜 飼 七 郎	明 政 会	14日
8	11	後 藤 信 一	明 政 会	14日午後～
9	23	小 森 敬 直	日 本 共 産 党 関 市 議 員 団	14日
10	5	桜 井 幸 三	平 成 会	14日
11	4	栗 山 守	平 成 会	18日10:00～
12	2	波 多 野 源 司	市 政 ク ラ ブ	18日
13	1	渡 辺 英 人	市 政 ク ラ ブ	18日午後～
14	14	幅 永 典	公 明 党 関 市 議 員 団	18日
15	15	市 川 隆 也	公 明 党 関 市 議 員 団	18日

代 表 質 問

明 政 会

議席20番 長 屋 和 伸

1 災害への対応について

(1) 避難所について

- ア 避難所の設置場所について見直す必要はないか
- イ 避難所の種類が市民に分かりにくいのではないか
- ウ 避難所の備品や物資などをさらに充実できないか

(2) 平成30年7月豪雨災害の検証について

- ア 検証の概要は
- イ どのような課題があると考えているか
- ウ 関市災害ボランティアセンターは機能していたか。また、今後の課題はあるか
- エ 専門的な見地からの検証が必要ではないか

(3) 防災訓練について

- ア 今回の災害を教訓とした防災訓練を行うべきでは
- イ 今年度の防災訓練はどのような方針で行うのか
- ウ 特に河川の氾濫による水害を想定した防災訓練を行えないか

2 連携中枢都市圏について

- (1) 岐阜連携都市圏の概要はどのようなか
- (2) 連携都市圏によってもたらされるメリットなどはあるか
- (3) 岐阜市からの呼びかけなどはあったのか
- (4) 連携都市圏に対する将来的な考えや展望は

3 関市ビジネスサポートセンターについて

- (1) センター長の不在による業務への影響はないか
- (2) 新たなセンター長の選任はどのようなか
- (3) センターの今後の事業展開などはどのようなか

代 表 質 問

平 成 会

議席6番 松 田 文 男

1 農業用水について

- (1) 農業用水路の老朽化の現状は
- (2) 市として改修に対する支援などはできないか
- (3) 世界かんがい施設遺産はどのように活用していくのか

2 都市間道路の整備について

- (1) 中濃・各務原・尾張北部連絡幹線道路の計画の進捗状況は
- (2) 関市と名古屋圏を結ぶ道路の将来展望は

3 ヨーロッパの視察について

- (1) ポルトガル、スウェーデン視察の目的と成果は
- (2) フィゲイラ・ダ・フォス市との交流は
- (3) 新たな姉妹・友好都市の可能性は

4 災害時における自主防災組織について

- (1) 自主防災会の組織や役割は市民に浸透しているか
- (2) 避難時に自主防災会が行うべき役割などが周知されているか
- (3) 避難時の対応マニュアルを避難所に設置できないか

代 表 質 問

市 政 ク ラ ブ

議席8番 村 山 景 一

1 平成30年7月豪雨災害について

- (1) 津保川氾濫被害の最終的な集計は（被害世帯数、棟数、道路・水路被害箇所数及び被害額、工場・商店等の被害箇所数及び被害額、農業被害面積及び被害額等）
- (2) 上之保・武儀・富野地域以外の被害は
- (3) 豪雨状況と津保川氾濫情報は地域住民へどのように伝達されたのか
- (4) 防災無線若しくはそれに代わるものを各家庭に配置すべきではないか
- (5) 市内中小河川の全てに水位計をつけるべきではないか
- (6) 津保川の護岸・堤防の嵩上げ工事が必要ではないか
- (7) 富野小学校のグラウンド西側・南側に冠水防止の施設を設置できないか
- (8) 避難場所・避難所の見直しが必要ではないか

2 葬儀関連について

- (1) 総合斎苑わかくさの通夜・告別式の開始時刻の変更について
- (2) 葬儀案内看板設置について

代 表 質 問

公明党 関市議員団

議席13番 足立 将 裕

1 平成30年7月豪雨災害について

- (1) 関市の豪雨災害の総括は
- (2) 実効性のある避難対策、情報提供の推進について
 - ア ハザードマップの作成、改定は
 - イ 水位計、基準水位がない地域での避難情報は
 - ウ 避難情報伝達手段に課題はないか
 - エ 住民への災害リスク認識強化は
- (3) 被災者支援について
 - ア 被災者支援システムは活用されたか
 - イ 関市独自の支援策は
 - ウ 家屋解体費用について
 - エ 税金の減免制度について
 - オ 家屋の消毒について
 - カ 義援金、支援金、寄附金について
- (4) 消防団員の処遇改善は
- (5) 津保川の河川改修の見込みは
- (6) 今後、自然災害によって被害を受けた被災者の支援について

2 平成29年度決算について

- (1) 予算執行によって、目指す目的は達成されたか
- (2) 自主財源50%超えの要因は
- (3) 実質収支の変化の主な要因は
- (4) 不用額の要因は
- (5) 財政力指数、経常収支比率の増減をどう見るのか
- (6) 平成29年度歳入歳出決算を自己採点すると何点か
- (7) 統一的な基準による平成28年度決算財務書類は生かされているか
- (8) 決算及び決算財務書類等を来年度以降、予算にどう生かしていくのか

代 表 質 問

日 本 共 産 党 関 市 議 員 団

議席 22番 猿 渡 直 樹

1 豪雨災害対応

甚大な被害となった平成30年7月豪雨災害に関して、課題と教訓を明らかにする立場から諸点について質問を行う

2 小学校再配置と小中一体整備

平成17年の市町村合併時の新市建設計画では、武儀地域で「小中一体整備」を進めることが計画されている。武儀地域で小学校再配置（統廃合）を進めるのであれば、小中一体整備が合併時の市町村間の約束であることを踏まえた検討を行い地域の将来像を示すべきではないか。また、住民要望に添う小学校再配置を行うまでの間、通学区域の弾力的な取扱いを考える必要があるのではないか

3 財政運営における臨時財政対策債の見直し

大規模災害などの不測の事態への対応も考慮し、臨時財政対策債の発行抑制による一般財源縮減の方針を見直して、余剰資金を財政調整基金に積み立てて運用し、有効活用を図ることが望ましいのではないか

4 有印私文書偽造問題の処分

洞戸地域の遊休農地を活用した補助事業を巡り、住民・事業者間の土地貸借契約書が偽造された件で、行政の対応に疑義があり、市民の信頼を損ねる事態となった。市長を含む関係職員の責任を問う声に対し、どのような処分を行ったか

5 消防無線談合問題への対応

公正取引委員会が摘発した消防救急デジタル無線整備事業を巡る談合で、中濃消防組合には「沖電気仕様」の実施設計書が公文書として存在しており、「談合を行った」とする設計会社元社員の証言を裏付けている。告発を真摯に受け止め、調査を行うべきではないか

一 般 質 問

議席3番 土 屋 雅 義

1 平成30年7月豪雨災害について

- (1) 市長の被災者家庭の訪問時の所感は
- (2) 現地災害対策本部の設置と職員参集の見直しは
- (3) 災害ボランティアセンターの運営について
 - ア センターの設置期間の妥当性とボランティアの支援をためらう方への対応は
 - イ 地域事情をよく知る職員を各ボランティアセンターに確保できないか
 - ウ サテライトセンターには支部社協役員などを活用できないか
- (4) 被災した家庭への調査や訪問は効率的に行うことができたか
- (5) 被災した道路、河川、橋梁等の調査は効率的に行うことができたか
- (6) 地域防災計画の見直しが必要ではないか
- (7) 津保川の水位計設置計画及び水位モニターの設置は
- (8) 農林業施設災害の支援の充実が図れないか
- (9) 豪雨災害の検証結果の公表時期と検証結果を生かす施策は

2 電子図書館サービスの利用促進について

- (1) 現在のサービス登録者数やこれまでの利用実績は
- (2) 利用者の反応や市民の声をどのように捉えているのか
- (3) 利用促進のためにどのような取組を行ってきたのか
- (4) 今後の取組は

一 般 質 問

議席12番 鵜飼七郎

- 1 危険ブロック塀及び危険工作物について
 - (1) 学校の危険ブロック塀の対応について
 - (2) 学校の危険工作物の調査結果と今後の対応は
 - (3) 通学路の危険ブロック塀及び危険工作物の調査結果と今後の対応は
 - (4) 危険ブロック塀の診断費用の助成金について

- 2 児童生徒の暑さ対策について
 - (1) 学校での暑さ対策は
 - (2) 運動会の対応は

- 3 キッズウィークの導入について

- 4 関商工高等学校での地域人材養成について

一 般 質 問

議席11番 後藤 信一

1 関市の農業について

- (1) 特徴と課題は
- (2) 経営改善策と具体的施策は
- (3) 有害鳥獣対策は
 - ア 主な有害鳥獣の被害分布状況は
 - イ 対策はどうか

2 生活困窮者自立支援制度について

- (1) 自立支援制度の必須項目の実態は
- (2) 市の任意事業の実態は
- (3) 生活保護受給者について
 - ア 受給者は何名か。また、受給者の推移は
 - イ エアコンの設置は認められているか

3 カーブミラーについて

- (1) 自治会からの新設要望の件数は。また、年間の新設箇所の実績は
- (2) 点検の方法は。また、台帳の整備はどうか
- (3) 中濃地区交通安全協会による保守点検は

4 災害ボランティアについて

- (1) 市内及び市外からのボランティア参加状況は
- (2) 何世帯に派遣されたか。また、作業の内容は
- (3) 事故の報告は
- (4) 活動についての課題及び反省点は

一 般 質 問

議席23番 小 森 敬 直

1 太陽光発電について

- (1) 太陽光発電の現状は
- (2) 太陽光パネルの設置・管理は適正か
- (3) 住民と設置者との話し合いは行われているか
- (4) 市独自の規制条例が必要ではないか

2 コンクリートブロック塀の対策について

- (1) 学校施設を始め公共施設の危険箇所は明らかになっているか
- (2) 通学路の調査はされたのか。また、ブロック塀以外の石塀など危険な箇所の調査が必要ではないか
- (3) ブロック塀の撤去などは、どこまで進められているのか
- (4) 民間のブロック塀などの撤去・改修を促進するための撤去費用等の助成は十分か

3 通学路の安全対策について

- (1) どのような対策が取られているのか
- (2) 通学路のカラー舗装化はどこまで進められたか

4 認知症介護支援の取組について

- (1) 相談窓口での対応は適切か
- (2) 要支援1、2の方への介護サービスは確保されているか
- (3) 認知症の理解を広げるための施策は
- (4) 要介護慰労金の拡充について

一 般 質 問

議席5番 桜井幸三

- 1 「まち」に活力を生む「ものづくりのまち関市」のブランド化について
 - (1) 第5回関の工場参観日を終えて、成果と課題は
 - (2) せきの未来・社会貢献プロジェクトの企業と関市PTA連合会との連携事業とは
 - (3) 関市ビジネスサポートセンターの現状は
 - (4) 関市景気動向・求人等、景気の回復の兆しは

- 2 SEK I i s m、人口減少時代の「総合計画」について
 - (1) 新しい視点で人口増加に寄与する「ダイバーシティ」の推進とは
 - (2) ダイバーシティの満足度91.1%（2017年アンケート結果）の根拠は
 - (3) 市民への意識改革として「多様性社会推進条例」を制定しては

- 3 平成29年度の決算審査意見書について
 - (1) 決算に基づく関市健全化判断比率や関市財政運営判断指標について、市長の見解は
 - (2) 市は財政に対する市民の考えや意見を把握するよう努めなければならないが、どのように把握していくのか
 - (3) 決算審査意見書の「むすび」の監査委員からの指摘を今後どのように改善していくのか

一 般 質 問

議席4番 栗山 守

- 1 子どもを産み育てやすい環境づくりと食物アレルギー対応について
 - (1) 乳幼児、幼稚園・保育園児、小中学生の各段階における今年度の具体的な子育て支援の内容と保護者の反応について
 - (2) 子育て世代の移住定住や若者のU・I・Jターンを促進する市のセールスポイントは何か
 - (3) 学校給食センター整備の進捗状況は
 - (4) 食物アレルギーを持っている児童生徒の最新の実態は
 - (5) 学校給食センター整備に合わせて、アレルゲン除去食を完全実施する考えは

- 2 ひきこもり対策について
 - (1) 市のひきこもり実態調査結果は
 - (2) 調査結果から見えてきた市の課題は
 - (3) 今後の取組は

一 般 質 問

議席 2 番 波多野 源 司

1 平成 30 年 7 月豪雨について

- (1) 7 月 7 日から 8 日にかけての災害対策本部の対応について
- (2) 各地域事務所の 3 割人員配備を見直すべきではないか
- (3) 上之保地域での時間ごとの水位は
- (4) 基準水位について
- (5) 避難指示の基準は
- (6) 上之保地域の通信手段が断たれた原因と復旧の状況はどうだったのか
- (7) 長良川、板取川と比較して、津保川の氾濫の危険性についてどのように考えるか
- (8) 過去の長良川河川改修の内容とその効果は
- (9) 今回の災害を受け、津保川の全面改修が必要ではないか
- (10) 流木等による二次災害を防ぐ対策は
- (11) 崩壊箇所の早急な対応を
- (12) 用水、農地の改修は

一 般 質 問

議席1番 渡辺英人

1 猛暑対策について

(1) 熱中症予防策について

ア 今年の熱中症患者の発生状況は

イ 暑さ指数（WBGT）を用いた熱中症予防情報は提供されているのか

ウ 予防策のきめ細かい周知・啓発は十分であるか

(2) 市内保育園・小中学校・高等学校の熱中症対策の状況は

(3) 市内小中学校プールの利用日数と今後のプール改修・建設の考えは

(4) 指定避難所の小中学校で、エアコンの無い体育館への避難は見直すべきでは

2 水難事故防止対策について

(1) 市内に流れる河川の水難事故件数は

(2) 市が行っている水難事故防止対策は

(3) 市内小中学校・高等学校での水難事故防止啓発活動は

(4) 市内の危険箇所ライフジャケットの着用啓発・無料貸出しを行うべきでは

3 刃物ミュージアム回廊整備事業について

(1) トータルコーディネーターの公募について

ア トータルコーディネーターの役割は

イ 公募の時期と方法は

(2) 飲食広場（ゾーン）の今後の計画は

(3) 体験型キッチンスタジアムの計画は

(4) 長良川鉄道刃物会館前駅からの誘導策は

(5) 関川改修の今後の計画は

一 般 質 問

議席14番 幅 永 典

1 関市災害ボランティアセンターの設置、運営について

- (1) 過去に設置したことはあるか
- (2) これまでの開設訓練の実施状況は
- (3) 災害発生から設置判断に至るまでの対応は
- (4) 設置マニュアル、運営マニュアルは活かされたのか
- (5) 運営にはどれくらいの人員が必要で、どこから確保したのか
- (6) 運営に係るボランティアの事前登録の考えは
- (7) 駆けつけたボランティアと助けを必要としている被災者とのマッチングのための情報収集は的確で迅速に行えたのか
- (8) 3か所での受入体制は妥当だったのか
- (9) ボランティアセンターを通さず直接ボランティア活動をする人の補償はあるのか
- (10) グループリーダーの活動報告書から見えてくる課題は何か

2 成年後見制度利用促進について

- (1) 相談件数の推移は
- (2) 市長申立てについて
 - ア 申立件数と受任の現状は
 - イ 申立ての事務手続の流れは
- (3) 市民後見人養成講座の開催状況と実績は
- (4) 関市社会福祉協議会法人後見事業実施要綱について
 - ア 法人後見人の利点は
 - イ 関市社会福祉協議会が後見人に就任している実例はあるか
 - ウ 第6条第2項の規定で一部委託を可能としているがどのようなケースが考えられるか
- (5) 成年後見制度利用支援事業の助成内容と事業実績は
- (6) 市民への啓発・情報発信が足りないのでは

一 般 質 問

議席15番 市川 隆也

1 防災対策について

(1) タイムラインの策定について

- ア 避難情報発令後の住民の避難状況は
- イ 県内のタイムライン策定と活用状況は
- ウ 平成30年7月豪雨災害の教訓から早急にタイムラインの策定をすべきではないか

(2) 防災ラジオの導入について

- ア 導入のメリットについて
- イ 導入への課題と対策について

(3) 平成30年7月豪雨災害の被災者への住宅提供について

- ア 一時避難家族への市営住宅等の住宅提供の状況は
- イ 災害時の住宅提供に民間アパートの借上げの推進を

2 いじめ防止・不登校対策について

(1) いじめの認知件数について

- (2) いじめ防止対策の取組と成果について
- (3) 「いじめ相談アプリ」活用事業の導入について
- (4) いじめ防止対策の条例制定について
- (5) 不登校児童生徒の状況について
- (6) 不登校対策担当者の活動と成果について

3 関市墓地公園の整備について

- (1) 「墓地区画分譲計画」の見直しについて
- (2) 「墓じまい」への対応について